

年間約2万人の受診者を誇る都内最大クラスの健康管理センターが、さらなる機能強化と受診者拡大のために、赤坂の新しいシンボルとして誕生した大型複合ビル赤坂インターシティAIRへ移転しました。診断のためのPET/CT、MRIなど高度な装置を完備する一方、待合室や廊下は落ち着きある内装デザインとし、主にLED2面配光器具を採用し明るく心地好い、安らぎの空間を演出しています。

「虎の門病院附属健康管理センター・画像診断センター」は、「虎の門病院」と連携し、アフターケアと受診者対応の充実を図っています。従来の4フロアから移転後は1フロアとなり、より広くゆったりとした空間で受診者の皆様にご利用いただけるようになりました。またVIP専用や女性専用のスペースを設けてプライバシーも重視した質の高い健診を提供します。



【物件概要】
所在地：東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR5階
5階延床面積：2,419㎡
構造・規模：鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造
設計監理：(株)日本設計
施工：(株)大林組 電気：東光電気工事(株)
竣工：2017年8月



レディスドックの照明 受付と待合スペースの天井に2面配光間接照明器具①②③④を設置

受診者を温かく迎え、やさしく癒しのある空間を創出する2面配光間接光をロビーや廊下に採用

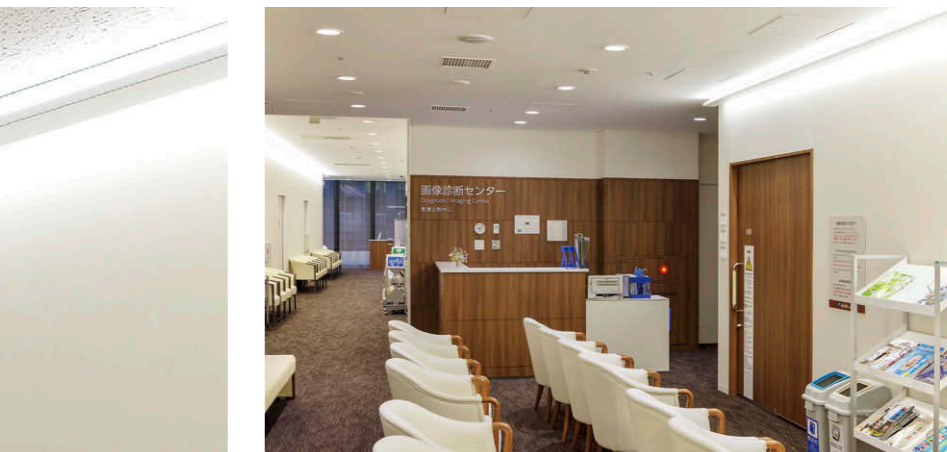
センターでは専門スタッフ、最新の装置による高度な健診の提供と同時に、受診者が気持ち良く快適に受診できる環境づくりにも務めています。照明設計においても受診者を「明るく」「温かみをもって」「優しく」受け入れる雰囲気を大切に、廊下や待合スペースに2面配光間接光器具を多く採用しています。

天井面と壁面への異なる発光の間接光により両方を明るく照らしながら、くつろぎ感を生み、和らぎ感を演出。白を基調とした壁や什器、

木製ドアとも落ち着いた調和をみせ、健やかで癒される空間を創造しています。2面配光間接光器具は、連結しても光のラインが美しくつながるため、特に長い廊下などではくつろぎ感が際立っています。また長さの異なる40タイプと20タイプの組み合わせによって、設置スペースに合わせた調整を可能にしています。天井への直付施工が可能で、長寿命、省エネに加え省メンテナンスも実現しています。



天井直付構造のため、天井面の造作が難しい建物でも、簡単に間接照明を実現できます。



画像診断センターの待合スペースの照明
天井と壁面の両方への配光で明るくくつろぎ感のある空間を創出



診察室や聴力検査室など各種検査室が並ぶ待合スペースの照明

■シミュレーションによる比較

	ダウンライト	2面配光 間接照明 LED 照明器具	一般的な間接照明 (ユニース照明・横置+ダウンライト)
空間の あかるさ感			
設置台数	12台	16台	16台+7台



天井面と壁面への効果的な2面配光により、まぶしさ感を抑えた「くつろぎ感」と、空間の「明るさ感」を両立しています。

2面配光間接照明器具①②

主な掲載機器一覧

設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考
センター内	LED2面配光間接光器具	① LEDT-40260W-LD9-J3 (40タイプ中間用・特注)	74	消費電力：32.3W
		② LEDT-40260W-LD9-J2 (40タイプ左穴用・特注)	12	消費電力：32.3W
		③ LEDT-40260W-LD9-J1 (40タイプ右穴用・特注)	9	消費電力：32.3W
		④ LEDT-20260W-LD9-J1 (20タイプ右穴用・特注)	6	消費電力：16.9W
		LEDT-20260W-LD9-J2 (20タイプ左穴用・特注)	1	消費電力：16.9W